

# 愛の料

十月二十三日、幼児音楽フェスティバルは、もも組きく組の見事な鼓隊演奏をはじめ、二十園が参加して、盆会裡に終了致しました。

主催は新潟県幼児音楽研究会です。この会は、「一人の音楽上手な子どもを育てるのにはなく、たくさんのお友達が好きな子どもを育てたい」と、音楽を通じて美しい心を育てたい」という共通の願いで立ち上げた会です。

幼児音楽フェスティバルは、毎年県内三会場で開催され、各回ともフロアダンスを掲げた記念パンフレットが発行されています。

フェスティバル参加にあたっての欄は、各園の紹介や先生方の思いを伝える内容が多く、中でも、私の案には違った存在感があると思ふことができました。

正に出演する子どもたちひとりひとりの心のうちが、感謝と思いやりと、友情、勇気の言葉で綴られているのです。

大きなステージで発表することを、少しはびびるが、お稽古をしておきました。保育園のお友だちが見に来た、小さなお手々で、たくさん拍手をしてくれました。

先生方が優しい眼差しでたくさんほめてくれました。大好きなお友だちの温かく見守ってくれました。たくさんのお友だちに応援してもらったことが自信になり、大きな力となりました。今日は、年中、年長、みんなの心をひとつにして、元気一杯頑張ります。

これが、第三十三回を迎えた私の笑つきのこころです。この言葉を遠かに送って、元気一杯みんなの心がひとつになって、ひとりひとり黄金色の輝やく見事なステージを作り上げてくれました。

行事は、子どもたちの節目、たとお休めして参りましたが、第三十三回幼児音楽フェスティバルのパンフレットに綴った子どもたちの言葉から、行事は、愛の料、を確かめ合う日になるのだと、こころを強くしています。

生活発表会が近づいています。優しい眼差し、あたたかい拍手、ママのお胸や、パパの膝、おじいちゃん、おばあちゃん、いとおしさを凝縮したようなまあるい背中、

どうぞ、愛を伝える様々な手立てを駆使して、子どもたちひとりひとりに、自分は世界の中で一番大事に愛され、一番可愛がられているーと実感してもらえる生活発表会にしたいです。と願っています。

また、サンタさんが五人も来てくれる松の実恒例のクリスマス会は、生活発表会のすぐ後に続きます。

クリスマスプレゼントに託して、愛を伝える喜びと、愛を受け取る幸せをつなごうと、サンタクロースの存在をいつまでも信じてくれる子どもを、欲しいと願う十二月を迎えます。

なみクリスマスプレゼントは毎年後援会からいただきます。ありがとうございます。

園長 福田孝子